

授業科目名	触診機能解剖学	授業形態	演習	配当学期	1年（前期）
担当教員名	廣岡 幸峰（アシスタント：池田卓矢、平塚将嗣、水谷貴佐）	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕 触診機能解剖学では、機能解剖学について学ぶことに加え、理学療法評価・治療に必要な触診技術について学んでいく。 実技を主体とした授業となります。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能解剖学に関する単語帳テストに正解できる。</li> <li>・機能解剖学に基づいて骨の触診が正確に行える。</li> </ul>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	機能解剖と触診について				
第 2 回	肩甲骨の触診				
第 3 回	胸骨・鎖骨の触診				
第 4 回	上腕骨の触診				
第 5 回	橈骨・尺骨の触診				
第 6 回	手根骨・手指骨の触診				
第 7 回	上肢の骨確認①				
第 8 回	上肢の骨確認②				
第 9 回	骨盤・脊柱の触診				
第 10 回	大腿骨の触診				
第 11 回	膝蓋骨、脛骨・腓骨（近位）の触診				
第 12 回	脛骨・腓骨（遠位）・足根骨Ⅰの触診				
第 13 回	足根骨Ⅱの触診				
第 14 回	下肢の骨確認①				
第 15 回	下肢の骨確認②				
評価方法	単語帳テストと触診実技テスト それぞれ60点以上で単位習得とする。				
教科書 参考図書	<p>運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢（メジカルビュー社） 〔教科書〕 運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹（メジカルビュー社） プロメテウス解剖学コアアトラス（医学書院）</p>				
履修上の 留意点	実技が主体となるので、触診部位を露出しやすい格好で参加してください。 身体へのトレースを行うので、ホワイトボードマーカーを2～3色、拭き取り用のアルコールシートを準備してください。				
メッセージ	特になし				